

## 私の楽しみ

二年 渡邊希歩

私は犬が大好きです。犬と過ごす時が一番楽しいし、心が温かくなります。犬は、人間と同じように、一頭一頭顔も性格も違います。この違いが、犬に限らず、動物の魅力でもあり、一緒にいることの楽しみでもあります。

今、私の家には、大型犬と小型犬が一匹ずついます。大型犬のキアラは、私が生まれた時からずっと一緒です。まだ私が小さかった頃は、怖くて怖くて、よく逃げ回っていたのをよく覚えています。今は私と三つ違いの十一歳で、毎日散歩に行き、同じふとんで寝ています。どれだけ学校で嫌な事があつたり、つかれていたりしても、家に帰るとしつぽをふりながらげんかんで待っているキアラを見たら、つかれなんて一瞬でふきとびます。

また、小型犬のリンは、私が小学校六年生くらいの時にうちに来ました。まだ二歳なので、好奇心旺盛でやんちゃです。いつも不思議な行動をとるので、そのマイペースさがより可愛いです。さらに二匹共、私や、家族誰かが泣いていると、すぐにかけて、そばにいてくれます。

私には、いとこがいます。そのいとこも、チワワを二匹、飼っていました。ですが昨年二匹のうち一匹が、亡くなってしまいました。いつも大人しくて、優しくて、おっとりしている、大好きな犬でした。亡くなる前日まではいつもどうりだったので、急な「死」に家族みんな悲しみました。そこで改めて命の尊さや儚さを実感しました。後から原因を知りました。病気だったとのことでした。一週間ほど前から悪化していき、きつともものすこくがまんをしていたということ、私がいに行つた時だけ、変わらずしつぽをふつて迎えに来てくれていたこと、いろいろなことが分かり、涙が止まりませんでした。温かい小さな手を、もう感じられないなんて、想像もできなかったです。もつとずっと一緒にいたいという気持ちと、まだ理解が追いついていないのがあり、後からだんだんと、より悲しくなりました。

そんな経験をした私は、命の尊さが少し理解できたような気がします。だからこそこれからもキアラ、リンと毎日一緒にいたいのです。一日一日を大切に、家族の一人として、楽しい思い出をたくさん作っていきたいです。いつかお別れをする日が来てしまうことは悲しいけれど、それまでの時間を大切に、楽しく過ごしたいです。それが、私の楽しみです。